

上島町消防本部だより

平成16年10月1日、上島町の誕生と共に上島町消防本部が発足し、

上島町では、新たに5人の職員（消防士）を採用しました。

今月号では、5人の新人消防士の紹介をします。

【質問内容】

- ①採用後、半月経過しての現在の心境（10月15日取材）
- ②消防士になった動機
- ③今後の抱負



左から 水島隆宏、穂積雅晴、山下拓也、濱田泰也、池本拓也

■水島 隆宏（弓削佐島）

昭和55年6月21日生 24歳

①消防学校の初任科を修了したばかりですので、現場での業務はとまどってばかりです。とにかく早く慣れて頑張りたいと思います。

②消防士になるのが、小さな頃からの夢でした。

③今のところは仕事に慣れることですが、もっと知識と体力と技術を向上させて、一人前の消防士になりたいと思います。

■濱田 泰也（生名）

昭和53年1月28日生 26歳

①採用当初は、救急現場や通信勤務等において、とても緊張しましたが、今でも多少の緊張感がありますが、徐々に当初の緊張は解け、スムーズに仕事が出来るようになったと実感しています。

②今まで県外で働いていましたが、以前から地元に戻って就職したいという希望もあり、消防の採用試験を受けました。

③とにかく新人なので一生懸命訓練して、いち早く先輩方に追いつき

たいと思っています。近々、救急に関する教育を受けるため、再度、学校へ入校することになっているので、まずはそこで救急業務を熟知することを当面の目標としています。よろしくお願いします。

■穂積 雅晴（岩城）

昭和60年2月13日生 19歳

①消防士という名に恥じぬように、誰からも認められる消防士になりたいと思っています。

②人の役に立てる職業に就きたいというのが小さい頃からの夢で、消防士を選択しました。

③今はまだ知識も浅く技術もまだまだですが、毎日勉強と訓練に励み、救急救命士を目指して日々精進していきたいと思っています。よろしくお願いします。

■池本 拓也（生名）

昭和57年1月13日生 22歳

①4月からの半年間、消防学校で勉強と訓練をしてきましたが、学校での訓練と現場では全く違い、なかなか動けないのが現状です。早く消防士としての仕事に慣れるように頑張りたいと思います。

②学生の頃に交通事故に遭い救急車

で搬送された時、救急隊の方たちの処置や対応に感動したことがありました。それから、自分も人を助ける仕事がしたいと思い消防士になりました。

③現段階では、まず仕事に慣れることが第一ですが、上島町消防では、救急業務が多いので、何年後かに救急救命士の資格を取って、住民の皆さんのために頑張りたいと思います。

■山下 拓也（魚島）

昭和60年12月31日生 18歳

①今では少し慣れましたが、初めの頃は、何をしていたのかも分からず、出勤の時も緊張してなかなか動くことが出来ませんでした。これから一日でも早く役に立てるよう頑張りたいと思います。

②阪神大震災の映像をテレビで見、人の助けになる仕事がしたいと思い消防士になりました。

③体調管理に気を付け、先輩方のご指導をいただきながら、消防士としての仕事を早く覚えて頑張りたいと思います。